

製品名: MATN1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80902**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	MATN1
別名	MAT; SAMS; MATA1; SAMS1; MAT1A
遺伝子 ID	4146.0
SwissProt ID	P21941
免疫原	大腸菌で発現したヒト MATN1 の精製された組み換え断片。

背景

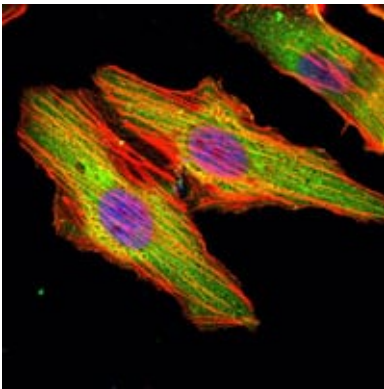
この遺伝子は、ATP のアデノシル基をメチオニンに転移させて S-アデノシルメチオニンとトリポリリン酸を生成し、その後 PPi と Pi に切断される 2 段階反応を触媒します。S-アデノシルメチオニンは、ほとんどの生物学的メチル化におけるメチル基の供給源です。

コードされているタンパク質はホモテトラマー (MAT I) またはホモダイマー (MAT III) として存在し、3番目の形態である MAT II (γ) は MAT2A 遺伝子によってコードされています。この遺伝子の変異は、メチオニンアデノシルトランスフェラーゼ欠損症と関連しています。

研究分野

-

画像データ



MATN1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。